

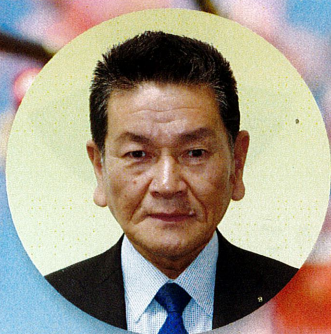
ふく くい 退職者連合

福井県退職者連合

No.61 2019.1.18

福井市問屋町1丁目35

発行責任者 山口 克家



福井県退職者連合

会長 福田 正人

新年明けまして、おめでとうございます。

平成最後の昨年を振り返ると、県内でも37年ぶりの大雪に始まり、酷暑、豪雨、台風など「災害はいつでもどこでもやってくる」そんな自然の猛威を痛感させられた一年でした。半世紀ぶりの福井国体・障スポは、県民に「大きな感動と奇跡」を与え、「健康長寿」の大切さも再認識しました。昨年7月からは日本退職者連合北陸ブロックの代表幹事に就きました。

いま『民は由らしむべし、知らしむべからず』と国民を愚弄する政治に、『ホントに何とかならんのか!』の怒りが沸点に達しています。これ以上「安倍一強」の悪政を許さず鉄槌を下すため、野党が一枚岩になり賢明な政策とリーダーシップが求められます。

2019年は、4月の統一選に始まり、5月新天皇の即位・改元、7月参院選、10月消費税10%引き上げなどの政治日程が立て込んでいます。これに「憲法改正」や複雑な国際情勢も絡みダブル選も囁かれる波乱含みの様相です。

われわれ退職者の「生活」と「政治」は密接な関係にあり、「誰もが安心して働き、暮らせる社会」にするため、「経済優先から生活優先」に、「自己責任から支え合う社会」に転換しなければなりません。

「政治を変える決戦」となるこの年、「現退一致」の運動を進めるわれわれも「応援団」として、春の統一選や夏の参院選に最大限支援する考えです。

一方、「人生100年時代」を迎え、「持続可能な社会保障制度の再構築」が日本国最大の命題です。われわれの「年金・医療・介護」の行方、とりわけ「給付と負担」のあり方が最大のカギとなります。

究極の願い「健康長寿」、健康で長生きする事が「最大の社会貢献」である事を認識して、自らの「健康づくり」や「生きがいづくり」に努めましょう。

この一年間の会員並びにご家族の皆様のご多幸とご健康を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

迎春
2019 亥



福井県退職者連合

2019年度

役員一同

会計監査	〃	〃	〃	〃	〃	〃	幹事	事務局次長	事務局長	〃	〃	〃	〃	副会長	会長
齊藤 重範 (連合福井役職員OBの会)	南部 修二 (北陸労金福井県退職者の会)	久我 賢二 (北陸たばこ退職者の会)	毛利 利夫 (全日本通福井県退職者の会)	宮本 淳一 (農水省福井県退職者の会)	政所 峯子 (UJ労組福井県支部退職者の会)	古市 つや子 (N十労組福井県支部退職者の会)	小澤 由美子 (UASENセン友の会)	玉川 忠春 (連合福井)	山口 克家 (UASENセン友の会)	加藤 健二 (京福労組退職者の会)	石塚 善榮 (北陸電力温交会)	竹内 良行 (福井市職労退職者の会)	勝木 正行 (福井市職労退職者の会)	岩尾 洋一郎 (二社福井県庁退職者連盟)	福田 正人 (N十労組福井県支部退職者の会)

新年のごあいさつ



日本退職者連合

会長 人見 一夫



新年あけましておめでとうございます。

2019年が、会員の皆様をはじめご家族にとって良い年となるようご祈念いたします。

今年は、政治決戦の年です。退職者連合が推薦する候補者の必勝をめざします。日本退職者連合は、持続可能な社会保障制度確立、政策制度要求の実現を図ります。また、要求実現のためには、組織の強化拡大は不可欠の課題です。100万退職者連合の実現、産別退連、地方退連と力を合わせ今年も頑張りましょう。



諸先輩の皆さんの運動を受け継ぎ 連合福井は30周年を迎えます



連合福井 会長 横山 龍寛



明けましておめでとうございます。退職者連合の皆様には、健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

本年、連合福井は結成30周年を迎えます。諸先輩の皆さんの熱い想いによって、それぞれの労働組合が連合に結集されてから29年間、労働組合として日々の取り組みに加え、地域に根差した顔の見える運動を積み上げることができました。30周年の節目に向けて、組合員はもとより地域社会から求められる組織をめざして、各構成組織・地域協議会が一体感のある運動を展開するために、組織力・政策力・発信力強化に全力で取り組んでいく所存です。

そして本年は、統一地方選と参院選が重なる12年に一度の極めて重要な年を迎えます。弊害ばかりが目立つ一強政治を何としても打破するために、「現退一致」の総力を挙げて闘っていかうではありませんか。

本年も、連合福井に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。



2018 第27回 定期総会



建設的な質問も

第27回定期総会スローガン
安心・信頼の社会保障制度の確立で
生き生きと安心して暮らせる社会にしよう!



議長の近藤氏



第27回の総会は11月22日に今年もアオッサ8F、福井県民ホールで行なわれました。61名の代議員が出席し開会した中、総会議長にJP労組退職者の会福井県連協の近藤源一郎氏を選任し、2018年度の活動を振り返り、2019年度の活動方針を確認しました。議案に対し質疑では「会員拡大が課題となっているが、取り組みについてどうか」「退職者連合の活動に対し、あまり積極的でないところもあるようだがもっと参加するべきだ」との意見も含めた質問がありました。組織拡大は「各々会員の事情もあり困難なところもあるが、拡大に努力をお願いしたい。また未加入の会員に対してもアプローチをしたい。」活動の参加については「マレットゴルフ、研修会や総会など可能な限り要請の人員には応じてもらうよう伝えていきたい。」とお応えしています。今年は役員改選の年ではありませんが、会員組織内の交代で1名の方が役員を退任されました。最後に大会スローガンを採択し、新年度に向け決意を新たにしました。新年度は選挙が続く年。連合が推薦する候補者の当選に向け、「現退一致」で頑張ろうと確認しました。会員の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。なお、総会の後の懇親会では会話が弾み、和やかなひと時を過ごしました。

各組織からのお便り

☆JP労組退職者の会福井県連絡協議会

事務局長 政 所 峯 子

JP労組退職者の会は全国組織で福井連協は北陸3県の一員となっています。福井連協は県内を4支部に分け250人で構成しています。特徴は各支部持ち回りで「おもてなしイベント」を毎年開催し親睦と交流を深めていることです。1回目は「若狭のお水おくり」、2回目は「池田町こんにやく手作り」と和紙作り、3回目は「朝倉遺跡散策」、そして2019年は「日本一短い手紙の館と三国まつり見学」となっています。地域自慢のランチがついて大好評です。悩みは会員の拡大が思うようにいかないことです。現会員の5倍以上の退職者がいますが加入に至っていないことです。さらに、毎年退職する後輩がいますが年金受給年齢の繰り下げで引き続き働く人がほとんどで、新規拡大が難しい状態となっています。年4回の幹事会で協議しながら近藤源一郎会長以下全役員が一丸となって「ありがとうと言われることをやろう」を合言葉に活動しています。

☆UAゼンセン友の会福井県支部

副支部長 小 澤 由美子

新年あけましておめでとうございます。

UAゼンセン友の会福井県支部は、第36回定期総会(名称変更等もありますが通算し)を11月に開催し今年度の活動計画を決定しました。

私たちは会員相互の交流と親睦を深めるとともに、自分たちが共有する諸課題について皆で話すことができる場を設け、ともに分かち合うことができる会としています。

春に行う1泊2日の「ふれあい親睦ツアー」、バスの中では1年ぶりに会う友との再開もあり、終始賑やかな楽しい車中となっています。又、10月に11年続いているマレットゴルフ大会、11月には温泉にて定期総会を開催、いつ終わるかと思うくらい盛り上がる懇親会、年間を通じてとても楽しい活動となっています。

又、全国の友の会では唯一女性委員会を2012年4月に立ち上げ、女性を主として活動を行っています。内容は綿布と未使用タオルを1年に1回介護施設へ贈る活動で、これは委員全員が1年間収集したものを持ちよりお贈りしています。会員を対象とした総会と研修、役員研修会も行い親睦を深めています。これからぬくもりのある友の会活動を行っていきたいと思っています。

◎福井県庁退職者連盟からのお知らせ

「福井県庁退職者連盟会員作品展」の開催について
一般社団法人福井県庁退職者連盟

事務局長 岩 尾 洋一郎

県内各地で活躍している福井県庁退職者連盟会員のより一層の親睦と交流を図るとともに、新たな仲間や趣味との出会いによって心豊かで潤いのある生活の実現に資することを目的として、下記の通り作品展を開催いたしますので、出品者の力作を見にきてください。

記

1. 会 期 平成31年3月20日(水)～24日(日)
午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)
2. 会 場 福井県立美術館(1階：第2展示室)
3. 部 門 「絵画・造形」「彫刻・工芸」「書道(篆刻を含む)」「写真」
4. 出品者 福井県庁退職者連盟会員又はその配偶者
5. 入場料 無料

☆農林水産省福井退職者の会

会長 宮 本 淳 一

私たちは全国組織のうち福井県内居住者で構成しています。今年会員数は90名を切りました。

県内に散在する会員が集う機会は総会とその後に開催する懇親会(昼食会)ですが、毎回20名足らずしか集まりません。予算と運営の工夫が足りないのが悩ましいところです。

昨年末に全員を対象に「近況報告」(短いコメント)を募集しました。それを編纂して冊子を作りました。はがき半分位のスペースに現在の仕事・ボランティア活動・趣味・運動・身体の不具合等様々な現況の一部がコンパクトに表現されています。直筆のコメントをコピーして20ページの冊子にしました。退職したばかりの者から40年以上経た会員まで、かつての同僚・先輩・後輩たちの現況を伺い知る一助になれば・・・と考えています。

だれもが年金生活の中から、今自分に出来ることを見つけて精一杯の活動をしています。今年の地方統一選挙や参議院選挙も、高齢者のおかれている現況からの目線で臨みたいと思っています。

事務局からのお知らせ

第27回定期総会も終え、'19年度の活動がスタートしました。今年は選挙が続きます。私たちを取り巻く情勢は年々厳しくなっています。高齢者にも光を当てる政治が望まれますが、「連合」に集う現職の仲間たちとも力を合わせ、推薦候補者の当選に向け一役買しましょう。今年も会員の皆様のご協力をお願いしながら、各行事や研修会を行ってまいります。よろしくお願いいたします。

2019年度の親睦旅行は松山市内と道後温泉方面と決まりました。「しまなみ海道」を通るためちょっと遠距離になりますが、去年同様多くの会員のご参加をお待ちしています。参加費は昨年より30,000円とさせていただきます。